



「二学期がんばったこと」

吉岡 建^{たけ}くん

ぼくは、二学期の音楽会にそなえて、「ちびっこカウボーイ」と「ゆかいな木きん」を練習しました。

ちびっこカウボーイの歌を練習してる時に、大つか先生が、「歌う時、しき者がわらっていたら、みんなもわらったほうがいいのよ。」と教えてくれました。

ちびっこカウボーイを歌う時、ぼくはとても楽しいです。だから、わらったかおで歌っていました。

ゆかいな木きんでは、ぼくはタンバリンをやりました。たくさん練習して、上手にうてるようになりました。となりでいっしょにうつ、けんた君にもやりかたを教えてあげました。けんた君も上手にうてるようになりました。けんた君はとても楽しそうでした。

12月7日は、いよいよ本番です。ぼくは、ちよつときんちようしました。ちびっこカウボーイを歌い終わった時、「まちはえなくてよかった。」と思いました。楽しく歌えてよかったです。ゆかいな木きんのえんそうでは、ましがえそうになつたけれど、ましがえずにできてよかったです。

全部のえんそうが終わった時、まず先生に、「上手にできました。」と言われて、すごくうれしかったです。

評) 一生懸命練習した様子や本番での気持ち、とても素直に書けています。

富田^{さと}紗^や也^か香^かちゃん



評) きれいな線で書けました。日と生、名前と大ききのバランスもとてもよいですね。

太幡^か加^な奈^こ子^こちゃん



評) 字形や字の中心に気をつけて書くことができました。

「カラフルバツタとあそんだよ」
金室^{のど}和^か佳^かちゃん

評) よく晴れた秋の空をバツタととんでいるようすが楽しく描けました。



全国納税貯蓄組合連合会会長賞
「日本人、
地球人としての
役割り」

新井^り里^な菜^なさん

八月のドイツは、緑と花に囲まれとてもきれいです。市民の憩いの場となる公園には緑が多く、都市も整然としている事に気づきます。日本と同じ敗戦国だが、戦後六十年で環境先進国と呼ばれる程の国に変わったのです。その他にも、環境を考え、実践について、現地の人に教

えてもらいました。西欧では親から子へ、孫へと建て物を使い続ける文化があります。費用がかかっても、外側を残し、内側だけを解体します。古い物を「残す文化」。家具も同じです。すぐにあきたり、壊れたりして廃棄物となる様な物は見かけません。伝統や文化の理